

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	TAVI 術後患者に対する血圧脈波検査を用いた心機能評価
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 循環器・呼吸器・腎臓高血圧内科学講座 教授 山口 修
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2031 年 12 月 31 日
対象となる方	2025 年 5 月から 2030 年 4 月までに愛媛大学医学部附属病院で経路カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)を受けられた患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、手術時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	TAVI は重症大動脈弁狭窄症に対する有効な治療法ですが、手術後にも感染症や弁機能不全、不整脈などの合併症が起こりうるため、定期的な診察と病態評価が必要です。一般的に大動脈弁は心臓超音波検査(エコー検査)によって評価されますが、熟練した検査者でないと正確な計測ができず、検査に時間がかかるなどの問題があります。血圧脈波検査は足の動脈硬化の有無を調べるために使われることが一般的ですが、同じ機械を使って同じ検査時間で心臓の機能(systolic time intervals; STI)を調べることができます。この研究では、TAVI を受けた患者さんのエコー検査と血圧脈波検査の結果を比較することで、STI により大動脈弁や心臓の機能が評価できるかどうかを調べることを目的とします。
個人情報の保護 について	収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を

	<p>特定できる情報は一切含まれません。</p> <p>なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p> <p>【情報管理責任者】心不全治療学講座 教授 池田 俊太郎</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部附属病院 循環器内科 檜垣 彰典</p> <p>791-0295 愛媛県東温市志津川 454</p> <p>Tel: 089-960-5327</p>